

各衣装共通の作り方

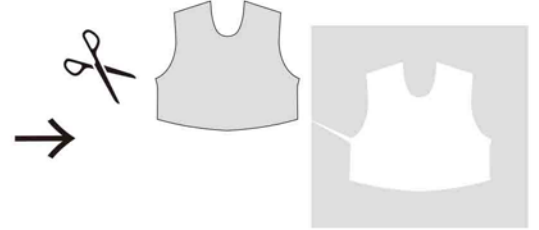
★ほつれ止めの使い方



型紙を生地の上に置き、
チャコペンやフリクションペンなどで
型紙を描き写す



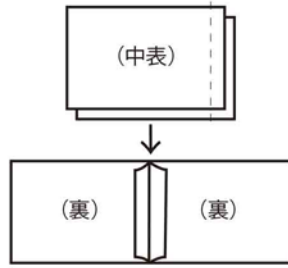
描き写した線に
ほつれ止め液を塗り、乾かす



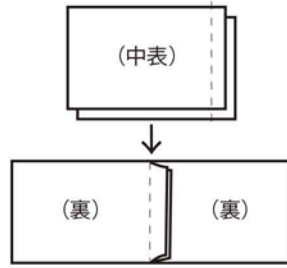
描き写した線を裁断する

★縫い代の処理方法

衣装の大きさや生地の厚みによって使い分けてください



【割る】
肩、脇など

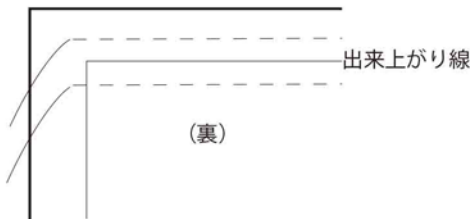


【片倒しにする】
袖ぐり、襟ぐりなど

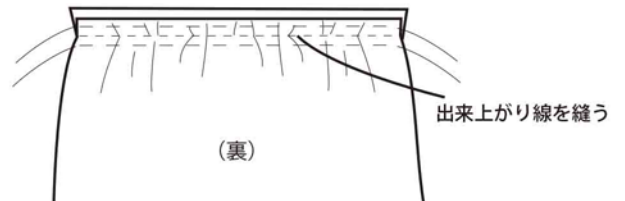


【切り落とす】
襟の角など
※縫い代ギリギリで切り落としたところは
ほつれ止めを塗ると良い

★ギャザーの寄せ方

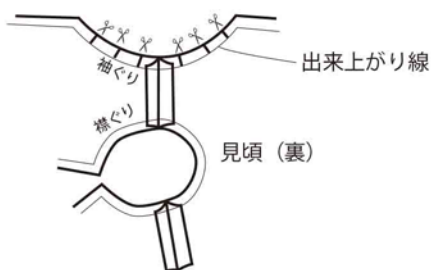


出来上がり線を挟むように
図の位置を2本粗めに縫う
※縫い始め・終わりの返し縫いはしない

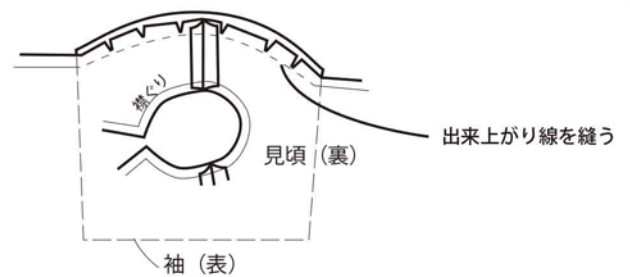


縫い合わせる場所の中に合わせて粗めに縫った糸を引きギャザーを寄せる
出来上がり線を縫う

★袖の付け方

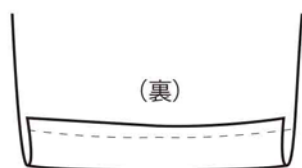


見頃側の袖ぐりに
出来上がり線まで切り込みを入れる

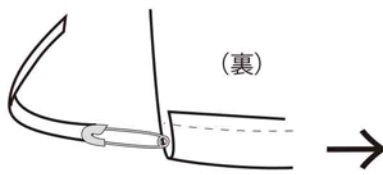


切り込みを袖山のカーブに合わせて開き
しつけやボンドなどで仮止めをし出来上がり線を縫う

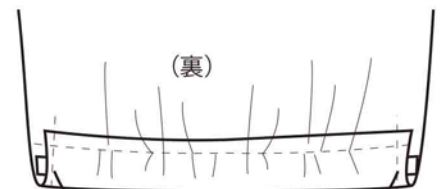
★ゴムの入れ方



ゴムを入れる部分の縫い代を
折りあげて縫う



指定の長さのゴムを安全ピンなどにつけ
縫い代の中に通す



縫い代とゴムの両端を縫う